Panasonic センサーライト付カメラ子器（オフブラック）品番 WQD843B（プラチナメタリック）品番 WQD843Y

取扱説明書

WQD843B・WQD843Y

●お買い上げありがとうございます。
●ご使用前に必ずお読みいただき大切に保管してください。

安全上のご注意　■必ずお守りください

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。
必ず守る	**本体に表示しているランプを使用する。** 間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。
	万一、異常が発生したら壁スイッチを切る。 切らないと、発熱・発火の原因となります。
	ランプ交換時やお手入れする際は、壁スイッチを切る。 感電・やけどの原因となります。
	設定時、お手入れ時、およびランプ交換時などは足場を確保する。 高所作業になり、転倒・落下のおそれがあります。 安全に作業できるようご注意ください。

⚠注意

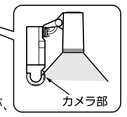
禁止	**温度の高くなる物を本体の真下に置かない。** 火災の原因となります。
接触禁止	**点灯中や消灯直後は、ランプや本体には触らない。** やけどの原因となります。
必ず守る	**照明器具のカバーは確実に締め付ける。** 締め付けが不完全な場合、浸水による感電、および落下によるけがの原因となります。

ご使用前に

●この商品は住まいるサポシステム（W型・S型）のセンサーライト付カメラ子器として使用します。内部センサーおよびカメラ子器に別売の外部センサーを接続して、カメラ子器が人などを検知したときに自動的に照明器具を点灯させ、住まいるサポ親機・副親機に映像を映し出します。

使用上のご注意

●夜間近距離（本体より2m以内）で赤外線照明で照射したときや照明器具の光を直接照射したとき、被写体が白くなる場合がありますが、カメラの性能上限界であり、故障ではありません。
また、照明器具の光がカメラ部を照射すると、照明器具の反射光が映る場合があります。
必ず照明点灯時の映像を確認してお使いください。
●夜間のフラッシュ動作中は映像が明るくなったり、暗くなったりします。必要に応じて、フラッシュ動作を「切」にしてお使いください。
●夜間、照明器具の照射光が暗い部分や、人物を撮像しているときの背景などは正常に映し出せない場合があります。
●この商品は夜間、被写体を見えやすくするために感度を上げています。そのため、背景の暗い部分にノイズが見えやすくなることがありますが、故障ではありません。
●外気温が急激に下がった場合（降雨後など）、カメラ部がくもり映像がぼやけることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると正常に戻ります。くもった状態では検知性能が低下することがあります。
●この商品は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
●冬期、商品の表面が凍結すると映像が見えにくくなることがありますが、故障ではありません。
●電源を入れてから約30秒間は検知動作しません。また、接点入力も動作しません。
照明器具は約40秒間、周囲の明るさに関係なく点灯します。
●カメラ部の汚れがひどいときは、コップなどで少量の水を数回ゆっくりかけて砂ぼこりなどを洗い流した後、柔らかい布で軽くふいてください。強くこすって傷がつくと、映像が見えにくくなる場合がありますので注意してください。



熱線センサーと画像センサー（シルエットマッチング）についてのご注意

■熱線センサーは、物体（地面や壁など）の温度と人の温度の「温度差」を検出します。

●熱線センサーは検知範囲内の温度変化分（3℃以上）を検出する方式の商品です。何らかの要因で検知範囲内の温度が急に変わったときは動作をしたり、人が通っても温度変化として検出できないときは検知動作しない場合があります。
●熱線センサーはガラスごしには検知しません。
●検知範囲は、背景と検知対象物の温度差および移動スピードにより、検知距離以上でも検知する場合があります。

■画像センサー（シルエットマッチング）は、移動している物体の輪郭を検出します。

●人物と背景のコントラスト差が得られない場合は、検知動作しない場合があります。
（人の服の色と背景の色が同じような場合や夜間など）

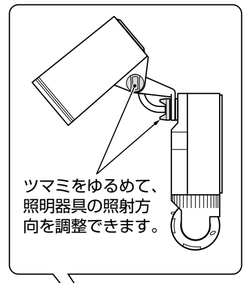
■熱線センサーと画像センサー（シルエットマッチング）の共通の注意事項

●検知範囲内であっても人が静止している場合は、検知動作しません。
●熱線センサー部やカメラ部の表面に汚れ・雪などが付着した場合や、検知対象物の動作などにより、検知性能が低下することがあります。
●熱線センサー部やカメラ部の表面が凍結した場合は、動作しないことがあります。
●センサー感度設定スイッチを「高」側に設定すると、誤検知しやすくなります。
●雨により熱線センサー部やカメラ部に水滴が付着したり、地面が水でぬれたりして温度変化を検出すると、動作する場合があります。

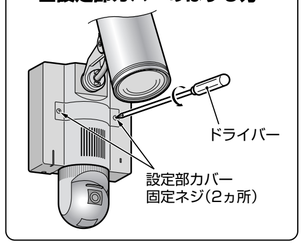
■次のような環境では人を検出しない場合があります。

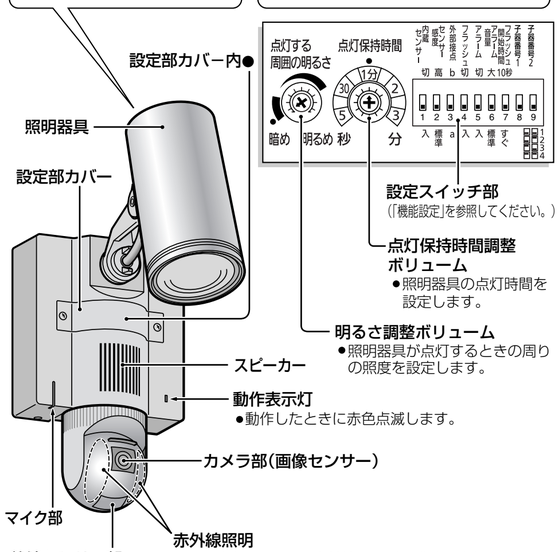
●夏場など、気温が体温に近づいているとき。
●冬場など防寒着や手袋などで身体を覆っているとき。
●傘などで身体を覆っているとき。
●検知範囲が真下を向いているとき。

各部のなまえとはたらき



■設定部カバーのはずし方





お手入れ

●ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。
●汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

注 ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

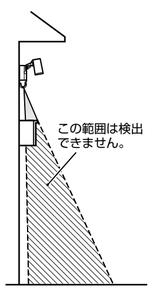
■次のような場所には取り付けないでください。

（検出しなかったり、誤動作の原因となります。）

障害物で熱線を遮る場所

●検知範囲内に障害物のある場所

家の外
ポストや牛乳配達ボックスなどの突起物がある場合



誤動作しやすい場所

●検知範囲内に動くものがある場所
●振動や衝撃の影響を受ける場所

●検知範囲内で急激な温度変化がある場所

●直射光・反射光の当たる場所
●室外機の風が直接当たる場所

●電気的雑音の発生源の近く

使　い　方

●周囲の明るさによって動作が異なります。動作が切り替わるときの明るさは、明るさ調整ボリュームで設定できます。「機能設定」を参照してください。

昼間（周囲の明るいとき）

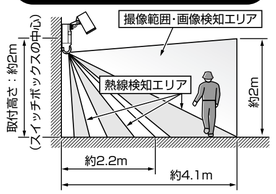
夜間（周囲が暗いとき）

センサーライト付カメラ子器の検知エリア・タイミングについて

■検知エリアについて

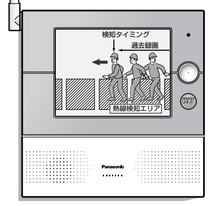
検知するには画像検知エリアと熱線検知エリアの両方で検知させることが必要です。

角度調整（垂直）：カメラ部を最大上向きから下に10°向けた場合



親機の画像で見ると…

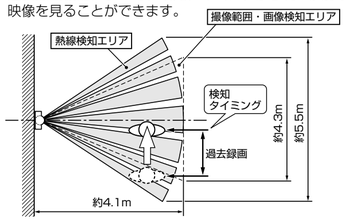
親機にてセンサーライト付カメラ子器の画像を見た際には、画像検知エリアは画面すべてとなり、熱線検知エリアはおよそ画面の下半分となります。熱線検知エリアは画面で映っていない箇所も一部検知エリアとなります。
詳細は、裏面の「撮像範囲・画像検知エリア」および「熱線検知エリア」をご参照ください。



注 熱線検知エリアはイメージです。
熱線センサーは実際の画面上には見えません。

■検知のタイミングについて

検知タイミングは撮像範囲より内側になります。動いている被写体の色や温度が背景に似ているときには、検知タイミングが遅くなったり、検知しない場合があります。
過去録画機能によって、検知タイミングから約3秒前の映像を見ることができます。



こんな使い方もできます

●人を検知していなくても常に100%の明るさで点灯し続けることもできます。（照明器具の連続点灯切替機能）

壁スイッチ（室内）を
1 ON状態から
2 すばやく（2秒以内）OFFからONに切り替える
（連続点灯します。）

注 ●連続点灯時にも検知動作します。ただし、設定スイッチの入／切にかかわらず、連続点灯中はフラッシュ動作しません。またアラームも鳴動しません。
●周囲が明るいときは切り替わらない場合があります。
周囲が明るいときに連続点灯させるには、明るさ調整ボリュームを「明るめ（右いっぱい）」に回してから壁スイッチの操作を行ってください。

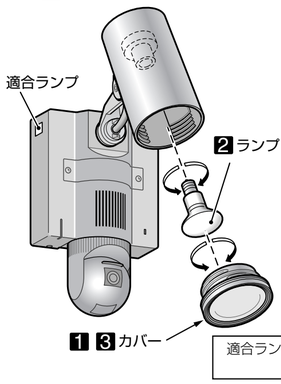
■連続点灯を解除するには

もう一度壁スイッチをすばやくOFFからONに切り替える

注 周囲が明るくなれば、自動的に連続点灯状態は解除されます。または周囲の明るさにかかわらず、最長約15時間経過すると、連続点灯状態は解除されます。

ランプを交換するには

1 カバーを取りはずす
2 ランプを交換する
3 カバーを取り付ける



適合ランプ：40形ミニレフ電球（ホワイト・110V・E17）　注 LED電球は使用しないでください。

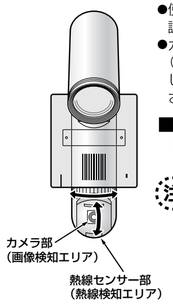
⚠警告

必ず守る	**本体に表示しているランプを使用する。** 間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。
	ランプ交換時やお手入れする際は、壁スイッチを切る。 感電・やけどの原因となります。
	ランプ交換時は足場を確保する。 高所作業になり、転倒・落下のおそれがあります。 安全に作業できるようご注意ください。

⚠注意

接触禁止	**点灯中や消灯直後は、ランプや本体には触らない。** やけどの原因となります。
必ず守る	**照明器具のカバーは確実に締め付ける。** 締め付けが不完全な場合、浸水による感電、および落下によるけがの原因となります。

撮像範囲と検知エリア



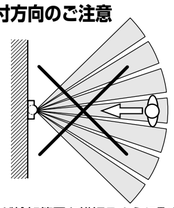
●使用場所に合わせて、撮像範囲と検知エリアを調整してください。
調整後は必ず動作確認をしてください。
●カメラ子器は検知エリアに入ったときの画像処理による輪郭情報の判断（シルエットマッチング）と温度変化検出（熱線）により人物を検知します。したがって人物検知は、画像検知エリアと熱線検知エリアの両方で検知されることが必要です。（カメラ部と熱線センサー部は一体型です。）

■調整可能範囲（無段階）

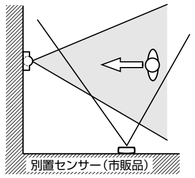
上下方向	下向き約10°～下向き約70°
水平方向	左向き約75°～右向き約75°

注 ●検知性能が低下する原因となりますので、熱線センサー部やカメラ部にキズを付けたり、汚れが付着しないようにしてください。
●センサー検知させる必要のないエリアを画像検知エリアから除外することができます。画像検知エリアが家の敷地外となり、頻繁に動作する場合は、親機側で「センサー検知設定」を設定してください。（親機の設定マニュアルを参照してください。）ただし、熱線検知エリアは除外できません。

■取付方向のご注意



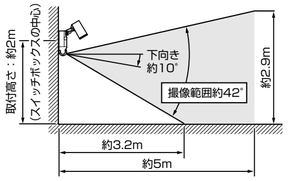
注 人が検知範囲を横切るように取り付けてください。上図のように本体に向かって歩く向きに設置すると検知しにくくなります。



取付位置が変更できない場合は接点出力のある別置のセンサーなど（市販品）を設置してください。
〔センサーに付属の説明書を参照してください。〕

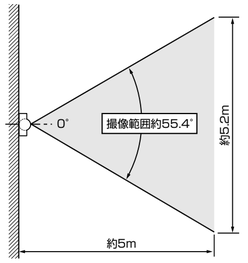
撮像範囲・画像検知エリア

垂直方向：下向き約10°（最大上向き）

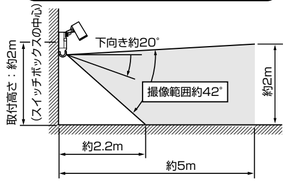


水平方向：正面 0°

※ただし、「垂直方向：下向き約10°（最大上向き）」の場合

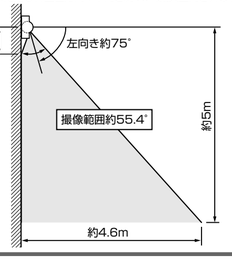


垂直方向：下向き約20°（最大上向きから5下に10°向けた場合）

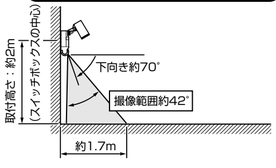


水平方向：左向き75°（最大左向き）

※ただし、「垂直方向：下向き約10°（最大上向き）」の場合

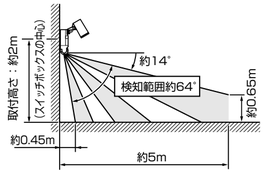


垂直方向：下向き約70°（最大下向き）



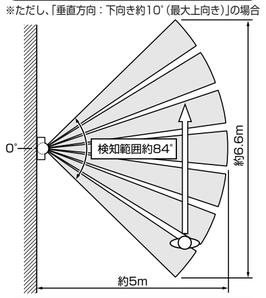
熱線検知エリア

垂直方向：下向き約10°（最大上向き）

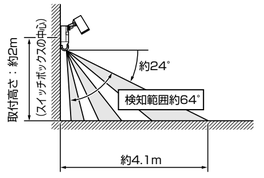


水平方向：正面 0°

※ただし、「垂直方向：下向き約10°（最大上向き）」の場合

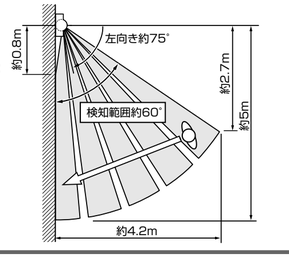


垂直方向：下向き約20°（最大上向きから5下に10°向けた場合）

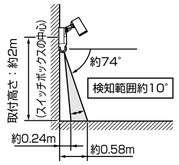


水平方向：左向き75°（最大左向き）

※ただし、「垂直方向：下向き約10°（最大上向き）」の場合



垂直方向：下向き約70°（最大下向き）



異常時の点検

●修理サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
●点検・処置をしても故障かな？と思われる場合は、施工店へ連絡してください。

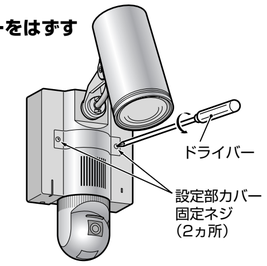
状　態	点　検	処　置
親機の映像がはっきりしない	●子器のカメラ部がくもっていませんか？	くもりが取れるまで、しばらく放置してください。
親機に映像が映らない	●センサーライト付カメラ子器の番号設定スイッチを設定していますか？（複数台接続の場合）	センサーライト付カメラ子器番号設定スイッチを重複しないように設定してください。（「機能設定」を参照してください。）
	●壁スイッチがOFFになっていませんか？	壁スイッチをONにしてください。
人がいるのに点灯しない または ときどき点灯しない	●壁スイッチがOFFになっていませんか？	壁スイッチをONにしてください。
	●照明器具のランプが切れていませんか？	表面の「ランプを交換するには」にしたがってランプを交換してください。
	●設定されている明るさよりも周囲が明るくありませんか？	明るさ調整ボリュームを「明るめ」側に少し回してください。
	●センサー検知範囲内で止まったり、遅い動きや走るような速さで通過していませんか？	人の動きなどの温度変化を検出していません。 大きく動いたり、検知速度を確認してください。
	●気温が体温に近くなっていませんか？	故障ではありません。夏場など気温が体温に近づいたときには、検知しにくくなります。
	●センサー検知範囲に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
	●カメラ部および熱線センサー部がホコリや水滴で汚れていませんか？	コップなどで少量の水を数回ゆっくりかけて砂ぼこりなどを洗い流した後、柔らかい布で軽くふいてください。
人がいないのに点灯する または 点灯し続ける ※：2秒以内の停電により連続点灯になることがありますが、異常ではありません。	●センサー検知範囲内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか？	表面の「熱線センサーと画像センサー（シルエットマッチング）についてのご注意」を参照し、原因となるものを取り除いてください。
	●センサー検知範囲内で洗濯物やゆれているカーテンなどがありませんか？	洗濯物の干し場所を変更したり、カーテンが窓の外へ出るのを防ぐため網戸を閉めてください。
	●太陽光の強い反射、ヘッドライトなどの光が当たっていませんか？	光が入らないようにするか、設置場所を変更してください。
	●センサー検知範囲外を通っている人などを検知していませんか？	5m以上でも検知する場合があります。その場合は、親機側で「センサー検知設定」を設定してください。（親機の設定マニュアルを参照してください。）
	●壁スイッチをONにした直後または停電が回復した直後ではありませんか？	壁スイッチをONにした後、約40秒間は必ず点灯します。（正常動作）
	●連続点灯になっていませんか？（動作表示灯が点灯している）	壁スイッチを一度OFFにして再びONにしてください。（2秒以内）
人がいなくなってもなかなか消灯しない	●点灯保持時間が長く設定されていませんか？	点灯保持時間調整ボリュームを左に回し時間設定を変更してください。
	●連続点灯になっていませんか？（動作表示灯が点灯している）	壁スイッチを一度OFFにして再びONにしてください。（2秒以内）
	●センサー検知範囲内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか？	表面の「熱線センサーと画像センサー（シルエットマッチング）についてのご注意」を参照し、原因となるものを取り除いてください。
連続点灯に切り替えできない	●明るさ調整ボリュームで設定した明るさよりも周囲が暗くありませんか？	明るさ調整ボリュームを「明るめ」側に回してください。 （センサー検知による点灯の開始が、以前より明るい状態で開始します。）
	●連続点灯切替操作が間違っていませんか？	正しく操作してください。（表面の「こんな使い方もできます」を参照してください。）
連続点灯が解除されている	●連続点灯中、明るさ調整ボリュームで設定した明るさよりも周囲が明るくなっていませんか？	連続点灯開始約2時間後より周囲の明るさを判断し、明るい場合には連続点灯が解除されます。
	●連続点灯時間が15時間以上経過していませんか？	連続点灯の最長時間は約15時間です。15時間を越えると消灯します。

機　能　設　定

●必ず壁スイッチ（室内）をOFFにして設定してください。
●設定後、壁スイッチ（室内）をONにしてください。
〔通常は、ON側で使用します。OFF側の場合は検知動作もしません。〕

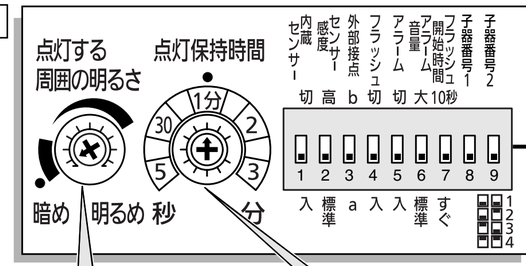
注 壁スイッチをONにした直後（約40秒間）は、周囲の明るさに関係なく照明器具が点灯します。

■設定部カバーをはずす



⚠警告　必ず守る　設定時は足場を確保する。
高所作業になり、転倒・落下のおそれがあります。安全に作業できるようご注意ください。

出荷時設定



■明るさ調整ボリューム

●照明器具が点灯する周りの明るさを設定します。
ボリュームの⊕部をお好みの位置に合わせてください。「明るめ」側（右方向）に回すと、明るい昼間から動作するようになります。

注 ●照明器具が点灯を開始するときの照度を約35ルクス～無限大の範囲で調整できます。
●周囲の明るさは、カメラ部で撮像している画像で判断していますので、照明器具が点灯する照度は画像により変わります。

■点灯保持時間調整ボリューム

●フラッシュ動作後の照明器具の点灯時間を設定します。
ボリュームの⊕部をお好みの位置に合わせてください。
「1分」での使用がおすすめです。

注 公共の場所などの人の通りが多い場所で使用した場合には、ランプの寿命が短くなります。

■各スイッチの設定

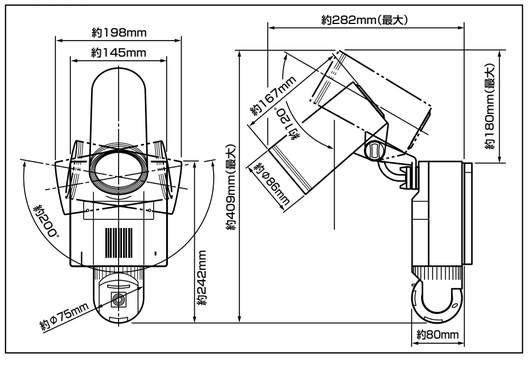
スイッチ	名　称	機 能 説 明
1	内蔵センサー設定スイッチ	**●内蔵のセンサーを検知させるか、検知させないかを設定します。** 入側：内蔵のセンサーで検知します。 切側：内蔵のセンサーは検知しません。
2	センサー感度設定スイッチ	**●内蔵のセンサーの感度を設定します。** 通常は「標準」側（■2）で使用してください。 注 検知しにくい場合のみ「高」側（■2）に切り替えてください。 ただし、「高」側にすると熱線センサーまたは、画像センサーのどちらか一方の検知で動作するので、誤動作しやすくなります。
3	外部入力接点切替設定スイッチ	**●別置のセンサーを接続する場合の外部接点の入力仕様を設定します。** a側：a接点の外部接点接続時に設定します。 b側：b接点の外部接点接続時に設定します。
4	フラッシュ入切設定スイッチ	**●フラッシュ動作を設定します。** （フラッシュ動作の設定にかかわらず、照明器具は点灯します。） 入側：フラッシュ動作します。 切側：フラッシュ動作しません。 注 「切」側に設定しても検知動作します。
5	アラーム入切設定スイッチ	**●アラームの鳴動を設定します。** 入側：アラームが鳴ります。 切側：アラームは鳴りません。（動作表示灯も点滅しません。） 注 「切」側に設定しても検知動作します。
6	アラーム音量設定スイッチ	**●アラームの音量を設定します。** 標準側：アラーム音量は「標準」で鳴動します。 大　側：アラーム音量は「大」で鳴動します。
7	フラッシュ開始時間設定スイッチ	**●検知エリアに侵入したときのフラッシュの開始時間を設定します。** す ぐ側：検知エリアに侵入するとすぐにフラッシュ動作します。 10秒側：検知エリアに侵入してから約10秒間滞在するとフラッシュ動作します。

スイッチ	名　称	機 能 説 明
8 9	センサーライト付カメラ子器番号設定スイッチ	**●センサーライト付カメラ子器の番号（アドレス）を設定します。** ■8 ■9：センサーライト付カメラ子器番号1 ■8 ■9：センサーライト付カメラ子器番号2 ■8 ■9：センサーライト付カメラ子器番号3 ■8 ■9：センサーライト付カメラ子器番号4 注 重複しないように設定してください。

■仕　様　屋外用

電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	点灯時：45W　待機時：4.5W
撮 像 素 子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
センサー有効検知距離	5m以下
センサー検知速度	0.3m／秒～1.5m／秒
音量（前方1m）	アラーム音量設定スイッチ 標準側：約50dB　大側：約70dB
ケースの材質	本体：難燃性ポリカーボネート樹脂 カメラ部：アクリル樹脂　照明器具：アルミダイカスト
使用周囲温度	−10℃～+50℃
質　　量	約2kg

■寸法図



パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地　電話 0120-283338　FAX 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012

8A2 P71 00007　K0506-60112A